

# 19 課

## 敬語 敬語

Honorific expressions  
敬어

### TEST スタートテスト

問題Ⅰ どちらか適当な方を選びなさい。

1. 先生、あしたは何時の飛行機ひこうきに { a お乗りになりますか b お乗りしますか }。
2. 会長がご自宅じたくにお電話を { a おかけになります b おかけします }。
3. わたしがこの本を先生のお宅たくに { a お届けになります b お届けします }。
4. わたしは先生のお荷物にもつを { a お持ちになりました b お持ちしました }。
5. 田中さんはどんな新聞を { a 読まれますか b お読みしますか }。

問題Ⅱ どちらか適当な方を選びなさい。

1. 学生：先生はそのことについて何と { a おっしゃいましたか b 申しましたか }。
2. 社員：社長は朝、パンとコーヒーを { a 召し上がる b いただく } そうです。
3. 先生：森さん、今度外国へ行くそうですね。どこへ行くんですか。  
森：シンガポールに { a いらっしゃいます b まいります }。
4. 留学生りゅうがくせい：先生、わたしがこの町を { a ご案内あんないなさいます b ご案内します }。
5. わたしはきのう、銀座ぎんざでおじに { a お目にかかりました。 b 会いました }。

**POINT** **ポイント 1.** <sup>そんけい</sup> 尊敬 (尊敬 / Respect / 존경)

(1) 敬意を表すために、相手のすることを高めて言う。

為了表示敬意而抬高對方行為的表達方法。 / Expression of praising the other party's actions to show respect  
 경의를 나타내기 위해 상대방이 하는 것을 높여서 말한다.

(2) 形の作り方      おV~~ます~~になります      書~~き~~ます → お書~~き~~になります

**問題1-1** ( ) の動詞を尊敬の「おVになります」の形にして、\_\_\_の上書きなさい。

例 先生は黒板に「静かに」と お書きになりました。(書いた)

1. スミス先生はいつも日本語で\_\_\_\_\_。(話す)
2. ケリー会長はあしたアメリカへ\_\_\_\_\_。(帰る)
3. スリーエー社の社長は2時に\_\_\_\_\_。(着く)
4. 会長、このコンピューターを\_\_\_\_\_か。(使う)
5. 金先生はソウルで\_\_\_\_\_。(生まれた)

(3) 特別な形

	あの方が		あの方が
行きます	いらっしゃいます	言います	おっしゃいます
来ます	いらっしゃいます	見ます	ごらんになります
います	いらっしゃいます	寝 <sup>ね</sup> ます	お休みになります
します	なさいます	知っています	ご存 <sup>ぞん</sup> じです
食べます	召 <sup>め</sup> し <sup>あ</sup> がります	Vています	Vていらっしゃいます
飲みます	召 <sup>め</sup> し <sup>あ</sup> がります	Vてください	おV <del>ます</del> ください

\* 1 いらっしゃいます→いらっしゃる    なさいます→なさる

おっしゃいます→おっしゃる

\* 2 「特別な形」がある動詞は「おVになります」の形を使わない。

有要點(3)的“特殊形”的動詞不使用“おVになります”的形式。

In the case of verbs that have a special pattern as shown in (3), the expression “おVになります” is not used.

포인트(3)의 「특별한 형태」가 있는 동사는 「おVになります」의 형태로 사용하지 않는다.

例      見る    ×お見になります→ごらんになります

例外    飲む    ○お飲みになります    ○召し上がります

問題1-2 ( )の中の動詞を尊敬の特別な形にして、\_\_\_\_\_の上書きなさい。

例 秘書：社長、あしたは何時に会社に いらっしゃいます か。(来る)

1. 社長はよくこの<sup>しやしん</sup>写真を\_\_\_\_\_。(見る)
2. 今、社長は<sup>へや</sup>部屋に\_\_\_\_\_か。(いる)
3. あしたの東京都の<sup>かいぎ</sup>会議には校長先生が\_\_\_\_\_。(行く)
4. <sup>ぶちよう</sup>部長、きょうはお昼ご飯をどこで\_\_\_\_\_か。(食べる)
5. <sup>きょうじゆ</sup>教授がそのように\_\_\_\_\_。(言った)

(4) V(ら)れます

動詞1	書か <del>ない</del> られる → 書かれる
動詞2	見 <del>ない</del> られる → 見られる
動詞3	する → される くる → 来られる

\* 「おVになります」や「特別な形」より<sup>かち</sup>尊敬の<sup>そんけい</sup>度<sup>ど</sup>合<sup>あ</sup>いが低い。

與「おVになります」、<sup>とくしゆ</sup>“特殊形”相比、尊敬的程度較低。

The degree of respect is lower compared with “おVになります” and the special patterns for this expression.

「おVになります」이나 「특별한 형태」보다 존경의 정도가 낮다.

問題1-3 ( )の動詞を「れる・られる」の形にして、\_\_\_\_\_の上書きなさい。

例 先輩、もうレポートは 書かれました か。(書いた)

1. 先輩、コーヒーを\_\_\_\_\_か。(飲む)
2. 課長、これはけさの新聞です。\_\_\_\_\_か。(読む)
3. 社長は、毎日7時から\_\_\_\_\_そうです。(散歩する)
4. 課長、新しいコンピューターを\_\_\_\_\_んですか。(買う)
5. 先生はもう\_\_\_\_\_。(帰った)
6. 先生はあした何時に学校へ\_\_\_\_\_か。(来る)
7. あなたのお父さんはこの問題について何と\_\_\_\_\_か。(言った)
8. 先輩、今度の<sup>たいかい</sup>大会に\_\_\_\_\_か。(出る)
9. この映画、もう見<sup>み</sup>に\_\_\_\_\_か。(行った)
10. 店長、お<sup>つか</sup>疲れのようですね。少し\_\_\_\_\_ほうがいいですよ。  
(休んだ)



**POINT** **ポイント 2** **謙讓** (謙讓 / Modesty / 겸양)

敬意を表す人に対して、わたしかわたし側の人のすることを低めることによって、相手に対する敬意を表します。

對要表示敬意的人，透過降低我或者我方人員行為來向對方表示敬意。

Way of expressing respect to a person by lowering the act done by oneself or someone from one's own group  
경의를 표시할 사람에 대하여 나 혹은 내쪽의 사람이 하는 것을 낮춤으로서 상대방에게 대한 경의를 나타냅니다.

形の作り方 お/ご + Vます します/いたします

持ちます → お持ちします/お持ちいたします

案内します → ご案内します/ご案内いたします

(1) 敬意を表す相手のいる行為に使う。

用於對需要表示敬意的對方的行為。

To be used for actions done by people to whom you should show respect  
경의를 표시할 상대방이 있는 행위에 사용한다.

合格したことを先生にお知らせしました。

(2) 敬意を表す相手のいない行為には使わないように注意。

注意在沒有要表示敬意的人存在時不要使用。

Be careful not to use for actions done by people it is not necessary to show respect for.  
경의를 표시할 사람이 없는 행위에는 사용하지 않도록 주의.

×夜はいつも本をお読みします。(自分一人で読む)

→夜はいつも本を読みます。

**問題2-1** ( ) の動詞を謙讓の「お/ごVします」の形にして、\_\_\_\_\_の上書きなさい。

例 きのう、先生にこの本を お送りしました。(送った)

1. そのことはわたしから田中先生に\_\_\_\_\_。(話す)

2. あした、この本をスミス先生に\_\_\_\_\_。(返す)

3. わたしはここで社長を\_\_\_\_\_。(待つ)

4. きのう、この写真を先生にも\_\_\_\_\_。(見せた)

5. 先生、旅行のスケジュールは、後でわたしが\_\_\_\_\_。(知らせる)

6. わたしの結婚式に田中先生を\_\_\_\_\_。(招待する)

(3) 特別な形 かたち

	わたしが		わたしが
行きます	まいります	言います	申します
来ます	まいります	見ます	(先生の絵を) 拝見します <small>え はいけん</small>
います	おります	聞きます	(先生に) うかがいます
します	いたします	訪問します <small>ほうもん</small>	(お宅に) うかがいます <small>たく</small>
食べます	いただきます	会います	お目にかかります
飲みます	いただきます	もらいます	いただきます

問題2-2 ( )の中の動詞を謙譲の特別な形にして、\_\_\_\_\_の上書きなさい。

例 わたしはあした10時に先生のお宅へ まいります。(行く)

1. 先生がお作りになった料理を\_\_\_\_\_。(食べる)
2. わたしは先生がお帰りになるまで、ずっとここに\_\_\_\_\_。(いる)
3. 社員：わかりました。その仕事はわたしが\_\_\_\_\_。(する)
4. 展覧会てんらんかいで先生がおとりになった写真を\_\_\_\_\_。(見た)
5. きょう、社長のお宅に\_\_\_\_\_。(訪問ほうもんした)

POINT

ポイント 3

聞き手に対して、ていねいな気持ちを表す特別なことば

(對聽者表示禮貌心情的特別詞語 / Special phrase to express courtesy to a person or listener  
듣는 사람에 대하여 정중한 기분을 나타내는 특별한 말)

Nです。 → Nでございます。 Nがあります。 → Nがございます。

店、駅などのお客を相手にする場所や、サービスの場面でよく使う。

使用於商店、車站等以顧客為對象的場所、服務領域。

Phrase frequently used when dealing with customers, such as at stores, stations, etc., or where a service is provided

가게, 역 등 손님을 상대로 하는 장소나 서비스 현장에서 흔히 사용한다.

<店で>パンの売り場はこちらでございます。

ワインはフランスのとイタリアのがございます。

POINT

ポイント 4 使い方のルール

敬意を表す人(目上の人)に言わないこと。

不能用於應表示敬意的人(地位高的人)。

Phrase that should not be used when paying respect to a person (higher ranking or older person)

경의를 표시할 사람(웃사람)에게는 사용하지 않을 것.

<p>×相手の欲求を聞く 詢問對方的慾望 When asking what the other party wants 상대방의 욕구를 듣는다</p>	<p>×コーヒーが飲みたいですか。→コーヒーでもいかがですか。 ×何か召し上がりたいですか。→何か召し上がりますか。</p>
<p>×相手の能力を聞く 詢問對方的能力 When asking the other party's capability 상대방의 능력을 듣는다</p>	<p>×運転できますか。 →運転なさいますか。 目上の相手に対して、相手ができなければ恥ずかしいと思うことについては、「できますか」という形では聞かないほうがよい。 對地位高的人最好不要使用“できますか”的形式，否則對方做不到時會感到很尷尬。 When asking a higher ranking or older person if he/she can do something, the speaker should not make a question using “できますか” in order to avoid embarrassing the higher ranking or older person. 상대방인 웃사람에 대하여, 상대를 할 수 없으면 부끄럽다고 생각하는 것에 대해서는 「できますか」라는 형태로는 묻지 않는 것이 좋다.</p>
<p>×恩恵の押し付け 強施恩惠 Imposition of benefit 고마움의 강요</p>	<p>×荷物を持ってあげます。 →荷物をお持ちしましょう。</p>



**問題4** どちらか適当な方を選びなさい。

1. <急に雨が降ってきたときに>

このかさ、貸していただけませんか。あした { a 返してあげます b お返しします }。

2. 学生：先生、その本、重そうですね。わたしが { a 持ってあげます b お持ちします }。

3. 秘書：社長、新聞を { a お読みにになりたいですか b お読みにになりますか }。

4. 学生：先生、忙しそうですね。 { a 手伝ってほしいですか b お手伝いしましょうか }。

5. <社員が部長にお茶を持ってきて>

社員：部長、 { a お茶でもいかがですか b お茶が飲みたいですか }。

6. 学生：先生、 { a スキーができますか b スキーをなさいますか }。

**問題5** ①～④の敬語をふつうの形にして、\_\_\_\_\_の上書きなさい。

<ホテルのフロントで>

受付：いらっしゃいませ。

小林：部屋を予約しておいた小林ですが……。

受付：小林さまでいらっしゃいますか。①お待ちしておりました。

こちらにお名前とご住所を②お書きください。

小林：これでいいですか。

受付：はい、ありがとうございます。お部屋は③605でございます。

こちらの者が④ご案内いたします。

① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_

③ 605 \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_

問題6 ( ) のことばを敬語にして、\_\_\_\_\_ の上に書きなさい。

1. <事務所の受付で>

田中課長：すみません。だれかわたしのところに来ませんでしたか。

受付：はい、さきほど、山田さまという方が①\_\_\_\_\_。

(来ました)

あちらの部屋で②\_\_\_\_\_。(待っています)

2. <社長にインタビューをする>

記者：では、社長よろしくお願いたします。

社長は子どものころはどちらに③\_\_\_\_\_か。(いました)

社長：九州の鹿児島で生まれて、鹿児島で育ちました。

記者：暖かいところですね。18歳の時に東京へ④\_\_\_\_\_。(来た)

そうですが、東京ではお一人でしたか。

社長：いいえ。兄といっしょでした。

記者：そうですか。そのころは社長もご自分で料理を⑤\_\_\_\_\_

か。(しました)

社長：ええ、しましたよ。

記者：では、社長のご趣味について⑥\_\_\_\_\_ (聞いても) よろ

しいでしょうか。

■コラム

「まいります」「おります」

聞き手に対してていねいな気持ちを表すために、(自分以外のことにも)「まいります」や「おります」を使うことがあります。

<駅のアナウンス> 4番線にまもなく電車がまいります。

<手紙> 暑くなってまいりましたね。

毎日暑い日が続いておりますが、お元気でしょうか。